



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

本日はお急しい中、来てくださりありがとうございました。

原爆のことや、投下に至るまで、細かく分かりました。

10代の男子が、あんな恐しい体験をして、ころらま悲しく

なりました。ドラム缶の話し、被爆した人々のありありとした

姿が、とても生々しくて、もし自分があそこにいたらと考えてしまっ

ゾッとしました。やはり戦争はよくないなと感じました。

戦争の途中であの原爆が落とされて、国民はどう感じたの

かなと思いました。資料館の人々があまりにきれいな

猫がいて、そのお父様も、とても悲しくて、くやしくて、

あんな気持ちになってしまったのかなと考えました。

現在はもっと、ざんこくで、怖くて、おどろおどろしい

物語だ、たことを、伝えてほしいと思いました。

原爆のはかいかや、原爆ドームの姿があいまって、

本当に怖くて痛かったらうと思いました、

あの過去があっても、完全にはなにかもしめるにはと

立ち直って、再興していた広島が、やはり

すごいなと思いました。私も、つらいことがあっても前を向いて、

頑張りたいなと思いました。色々なことを学ばせていただき、

今日は本当にありがとうございました。



名前を裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、人々が助けを一生けんめいに求めたり、火が落ちたりするのを聞いて「か」とてもなくいたくなりました。

リトルボーイが投下された時に100万～7000℃の熱さがあると考えただけで「自分もなせ」が苦しくなり熱くなりました。広島市人口が35万人もいてそのうち被爆者数24万人、そして死者数14万人。24万人の半分の人々が亡くなったことを知って、今、私がこうして平和に生まれていることは、とてもうれしいことであり、当たり前では無いという事に気が付きました。

私達は、戦争が起きている時代に生まれましたから、この戦争の非難を、そしてたくさんの方々の被爆者が「苦しい思いが言えぬ思い」をしたことを忘れてはいけぬことが心にひびきました。

この話を聞いて、今よりも、と命のありがたみ、日本のために戦ってくれた人々への感謝の気持ちがよまりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくが授業を受けて思ったことは、やはりどれだけ
やっても、原爆、戦争はとてもしんごくだし、悲しい
ものだと思いました。まずは一番にびっくりしたこ
とは、温度のことです。まさかの中べの場所は、
100万度という太陽よりあついことにびっくりしま
した。そしてそのまわりも7000度、下の方も
3000度というぜんぜん今では考えられないこと
があつて、当時はやばかったんだなと思いました。
そして、すぐくべに残っていることは、建物や
人々がいろいろな被害を受けたということです。
原爆のせいであくせんの建物がこわれたし、
大勢の人々がせくなつたということはその当時
の人々はすごいショックで、悲しい気持ちになつた
と思うし、自分も友達も同じふうにショックじゃないかな
と思います。けれども今の広島はすごく平和
でいろいろ取りもどせているかなとも思います。
なのでこれからは原爆のごしやう、いろいろな
ことを頭に入れて生活していきたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業で、今の日本とは別りものの日本の姿を見て想像するだけ吐き気がして胸が痛くなりました。たった一発の原子爆弾でたくさんの命が失われ、原子爆弾の怖さを改めて知ることかできました。義三さんは兵隊としてたくさんの苦勞や努力をしていたことも分かりました。一個一個の話が、聞いただけで苦しくなったのに実際に経験した人は言はずいまいましい苦しさや辛さ、悲しみがあつたと思うので、そんな人たちのことを考えると本当に胸が痛くなりました。最後の方に義三さんが涙を流していたとき、自分も泣きそうになりました。戦争はたくさんの人を苦しませ、たくさんの人の未来、家族、友達、命をうばってしまうので本当によくないことだと思ひます。これから先、戦争を起さないうに努力できるのは未来ある子供たちだと思ひるので、今後数十年、数百年戦争が起さないうに自分にできる

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

きることをやっていきたいと思ひます。
本日は本当にお小むしい中、ありがとうございます。
ました。